

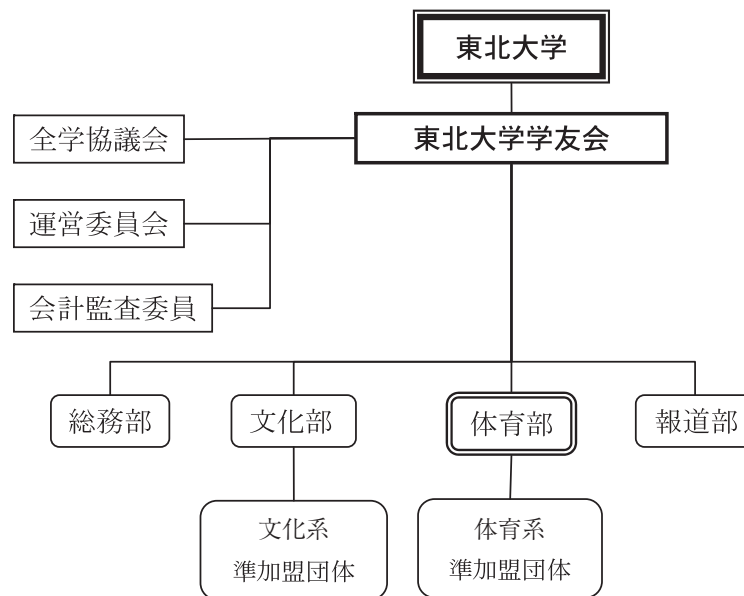
体育部常任委員会はこういう仕事をしています

第69期 常任委員会報告



-
- 規 約
 - 常任委員会紹介
-

【東北大学学友会組織図】



総務局

総務局長 吉田 かの

総務局の行う仕事は「各種会議の準備・運営」「渉内・渉外活動」「庶務全般」の三つに分けられます。各種仕事の詳細は以下の通りです。

1 各種会議の準備・運営

体育部に関する各種会議の開催にあたり、会場の確保、議題調整、出席者への連絡などを行っています。総務局が運営する会議は主に以下の三つです。

(ア) 代表委員会

各部より選出された代表委員で構成される毎月第一木曜日を原則として行われる会議です。開催にあたっては、代表委員五名以上の要求があった場合などに臨時に召集される場合があります。体育部常任委員会と各部との情報交換の場であり、体育部においては学生が開く中では最高の議決機関でもあります。

(イ) 体育部役員会

体育部長、副部長、各部部长、理事、幹事、学生委員、代表委員により構成され、体育部の重要事項について最終決定する機関です。

予算配分、体育部施設の準備、規約改正、部の新規加盟承認などが重要事項となっています。例年一回、六月に開催されます。

常任委員会とは？

常任委員会は、正式名称を『東北大学学友会体育部常任委員会』といます。

1 活動内容

- (ア) 運動部のサポート
 - (イ) 一般学生向けのイベント運営
 - (ウ) 七大戦・地区大の運営
- よく『生徒会の体育会版』と説明されます。

2 活動場所

東北大学川内キャンパスの川内サブアリーナ棟一階
住所：〒980-10812 宮城県仙台市青葉区川内4-1
電話・FAX：022-1795-1338
メールアドレス：join.talkubu@tohoku@gmail.com
分からないことがあったら電話なりメールなりどうぞ。

3 活動時間

平日夕方4時半～6時半
放課後は大抵います。

4 活動している人

大半は運動部からの派遣
一部は一般学生
派遣、一般問わず、新入生大歓迎です。

(ウ) 部長会議

体育部長、副部長により構成される代表委員会の顧問的な役割を持つ会議です。体育部長が必要に応じて招集しています。

2 渉内・渉外活動

体育部と各部、教育・学生支援課、他大学、各種競技団体などとの連絡を行っています。

3 庶務全般

各種名簿、各種議事録、体育会室の備品の整理、維持、補充などを行っています。体育会室全体の環境についても検討を行い、順次改善をはかります。

会計局

会計局長 村上 智紀

会計報告に先立ちまして、御多忙な中「北雄」の発刊に御尽力頂きました各企業の皆様方に厚く御礼申し上げます。

会計局の任務は、**入るを量り出でるを為す**、ことに尽きます。具体的には(1)財源の確保、(2)予算の作成・執行・決算(3)体育部本部の金銭管理及び運用、の三つの仕事があります。

1 財源の確保

収入源は学友会配付金、広告賛助、前年度繰越金に大別されます。学友会配付金は図1のようなルートを経て体育部予算に計上され、この額は総予算の8割以上を占めます。広告賛助は、各企業から「北雄」に広告を掲載することで頂くもので、例年東京と仙台を中心にして賛助活動を行います。

2 予算作成・執行、決算

支出総予算額は1で述べた収入と前年度決算および新規事業の必要性を鑑みて決定しています。支出内訳は本部予算、各部配付金、次年度繰越金に大別して計上しています。本部予算は前年度決算に基づきつつも次年度の担当者との折衝を重ね、また各部配付金については各部から会計状況の把握の為「資金調査資料」を提出してもらい、何度か予算折衝を行うことで作成します。

予算案は体育部役員会、さらに全学協議会での承認を得た上で、各

競技局

競技局長 渡邊 沙也

競技局では学友会体育部全体の結束を強め、各部が活躍するための環境作りを行っています。それらの仕事を大別すると以下のようになります。

1 学友会活動の向上と各部一体のための行事

(ア) F. A. (Freshmen's Assembly…新入生研修会)

これからの体育部における活動に役立つ知識を身に付けてもらうために主に新入生を対象に行う研修会です。毎年九月頃開催しています。昨年は部活動にて活躍するのに必要な各筋肉の強化方法を外部講師をお招きして教えていただきました。

(イ) L. A. (Leaders' Assembly…幹部主務研修会)

毎年各部の主将主務が集い、部の運営上の悩みや問題点、体育部全体の課題について話し合い解決策を見出す研修会です。今後の部を牽引して行く者のスキルアップを目指します。

又、横のつながりを深めるために、参加者同士の親睦会も行われます。

予算が執行されます。年度末には、予算に応じて配布した額の決算を行い、予算の際と同様に体育部役員会、全学協議会での監査と承認を受けます。

3 体育部本部の金銭管理及び運用

本学体育部は最大級の学内自治組織であります。これを有効かつ適切に運用するには、1,2で述べてきたことに加えて、日常の金銭収支に常に目を向けていく必要があります。実際の執行過程においては、物価の上昇、企画の変更など必ずしも当初の予算通りにいかない場合がありますが、総額の枠を守るよう弾力的に予算執行をしています。

4 今後の展望と活動方針

支出の面では体育部本部による各部の部員や一般学生に向けた学友会費還元事業の充実を図りつつも、内訳の三割を占める本部運営費の削減に努めたいと考えています。特に事務関係費に関しては普段の我々の活動により削減が可能と判断されるので、来期以降も実行の予定です。

今後とも「最小の投資で最大の効果」が上がるよう各部局と協力し合って体育部全体の発展に貢献したいと思えます。

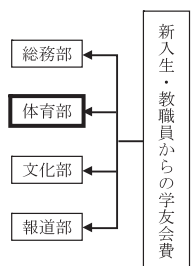


図1 学友会費の流れ

2 各部の活動の評価

(ア) 四賞・学友会長賞並びに学友会長賞特別賞の選考及び式典

学内の体育活動の振興とスポーツレベルの向上を目的とし、年間を通じて活躍した優秀な体育部に所属する各部及び個人に贈られます。

(イ) 新規加盟

体育部準加盟団体(いわゆる体育系サークル)の中で申請があった団体に対し、体育部に新規加盟しても良いか、代表委員を通して審査します。

事業局

事業局長 大橋 麗

事業局は以下に掲げる三つを中心に活動しています。

1 学内体育の振興と底辺拡大

大学に入學すると大抵の学生はスポーツから遠ざかってしまいがちです。学友会体育部は広く学友会の一一般会員のためにあるもので、前述のような学生のために気軽にスポーツに触れられるような企画を多数用意しています。

2 学友会費の一般会員への還元

私たちは一般会員からの学友会費を利用して活動しているので、一般会員に対して何らかの還元をしなければなりません。前述のイベントがこの役も担っています。

3 学友会体育部のPR

残念ながら学友会体育部の知名度は高くありません。PRについては広報局もその一翼を担っていますが、事業局でも様々なイベントを企画することで間接的にはあるが学友会体育部のPRにつなげていきます。

以下に、事業局で行う年間行事を挙げます。

(ア) スポーツフェスティバル(4月)

新入生に学友会運動部にどのような部活があるか見てもらうための企画です。各部の新歓活動の場になっています。

(イ) 春のスポーツ大会(4月)

新入生対象のイベントで、例年バレーボール、バスケットボール、フットサルの3種目を行います。

(ウ) 北雄杯駅伝(6月)

毎年五十チーム程が参加し、青葉山キャンパスを一周します。一般学生の参加が少なく、PRが課題となっています。

(エ) 秋のスポーツ大会(11月)

学祭の一企画として行われます。種目は例年春のスポーツ大会と同じですが、全学生が対象で、規模も大きいです。毎年五百五十人くらいの人が参加します。

今後はPR面をより強化し、一般学生の参加者を増やしていくことが課題です。

広報局

広報局長 末光 貴一

広報局は、学内での体育部所属各部の活動・試合結果や体育部の行事の案内などを一般学生に紹介し、部活や各イベントへの参加を呼びかけています。具体的な活動内容としては、機関紙『北雄』の発行、体育部ホームページの運営、七大戦等の広報があります。

1. 北雄

毎年四月に発行される機関紙『北雄』は、体育部の活動を学内・学外を問わず、広く知らしめるために発行されています。今回で六十一号と六十一年間欠かさず体育部の活動を紹介し続けてきました。その内容は、各部の紹介、体育部での行事の紹介を主としています。近年は配布対象が新入生を中心としており、各部の新歓誌としての役割が大きくなっています。今後はより多くの人に見てもらい、東北大学の学友会体育部の活動の認知度をあげ、学友会体育部活性化につながるよう努力していきます。

2. 体育部ホームページ

体育部内の競技局や事業局で行う行事の紹介や代表委員へのお知らせ、学友会体育部に所属する部活のページへのリンク、戦績などを随時更新しています。

今後はより多くの人にそれらの情報を見ていただけるよう工夫していきたいと思っています。

3. その他広報活動

他にもツイッターや学友会報道部との連携等、東北大学学友会体育部をさらに盛り上げるため広報活動を展開していきたいと思っています。

(ア) スポーツフェスティバル(4月)

新入生に学友会運動部にどのような部活があるか見てもらうための企画です。各部の新歓活動の場になっています。

(イ) 春のスポーツ大会(4月)

新入生対象のイベントで、例年バレーボール、バスケットボール、フットサルの3種目を行います。

(ウ) 北雄杯駅伝(6月)

毎年五十チーム程が参加し、青葉山キャンパスを一周します。一般学生の参加が少なく、PRが課題となっています。

(エ) 秋のスポーツ大会(11月)

学祭の一企画として行われます。種目は例年春のスポーツ大会と同じですが、全学生が対象で、規模も大きいです。毎年五百五十人くらいの人が参加します。

今後はPR面をより強化し、一般学生の参加者を増やしていくことが課題です。

広報局

広報局長 末光 貴一

広報局は、学内での体育部所属各部の活動・試合結果や体育部の行事の案内などを一般学生に紹介し、部活や各イベントへの参加を呼びかけています。具体的な活動内容としては、機関紙『北雄』の発行、体育部ホームページの運営、七大戦等の広報があります。

渉外局

渉外局長 岩城 美奈

渉外局は他大学との連携を担当する局で、主に①七大戦と②UNIVASに関するお仕事を扱う。

① 七大戦(全国七大学総合体育大会)

年に四五回開催される七大学体育会の会議や、隔週で開催される七大学体育会の七大戦担当者の会議に出席する。

② UNIVAS(全国大学スポーツ協会)

現在(令和3年度)東北大学が加盟を検討しているUNIVASに関する業務のほか、七大学以外の大学スポーツ関係者との交流を行う。

令和3年度の活動

・発足

令和3年4月、正副委員長や検討委員(七大戦担当)の負担軽減を目的として、渉外局が発足した。

・七大戦

第61回大会(令和4年度)検討委員を選出。

通常の七大戦業務と並行して、第61回大会実行委員会としての業務を行うこと。

・UNIVAS

新たに設置されたUNIVASの学生部会に、学生部員を1名応募し選出された。

UNIVAS加盟に向け、学友会体育部内の合意形成を進めている。